

10 景観

10.1 調査

1) 調査内容

調査内容を表 10.10.1-1 に示す。

表 10.10.1-1 調査内容

調査項目	
主要な眺望景観の状況	・眺望の構成要素の状況 (遠景、中景、近景ごとの工作物、森林、草地、水面、空等の比率)
主要な眺望地点の状況	・不特定多数の人が利用する眺望地点の位置、利用状況、眺望特性等
その他の予測・評価に必要な事項	・地域の景観特性 ・地形・地質、植物、史跡・文化財等の状況 ・土地利用状況

2) 調査方法

(1) 既存資料調査

既存資料調査は、表 10.10.1-2 に示す資料について収集、整理した。

表 10.10.1-2 調査方法 (既存資料調査)

調査項目	収集資料
主要な眺望景観の状況 主要な眺望地点の状況	既存資料により把握し、必要に応じて現地踏査により確認した。
その他の関連事項 ・地域の景観特性 ・地形・地質、植物、史跡・文化財等の状況 ・土地利用状況	既存資料調査、現地踏査により把握する。また、必要に応じて地域住民からの聴き取りによった。

(2) 現地調査

主要な眺望景観の状況に係る現地調査は、表 10.10.1-3 に示す方法により実施した。

また、調査地点は表 10.10.1-4、図 10.10.1-1 に示すとおりである。

表 10.10.1-3 調査方法 (現地調査)

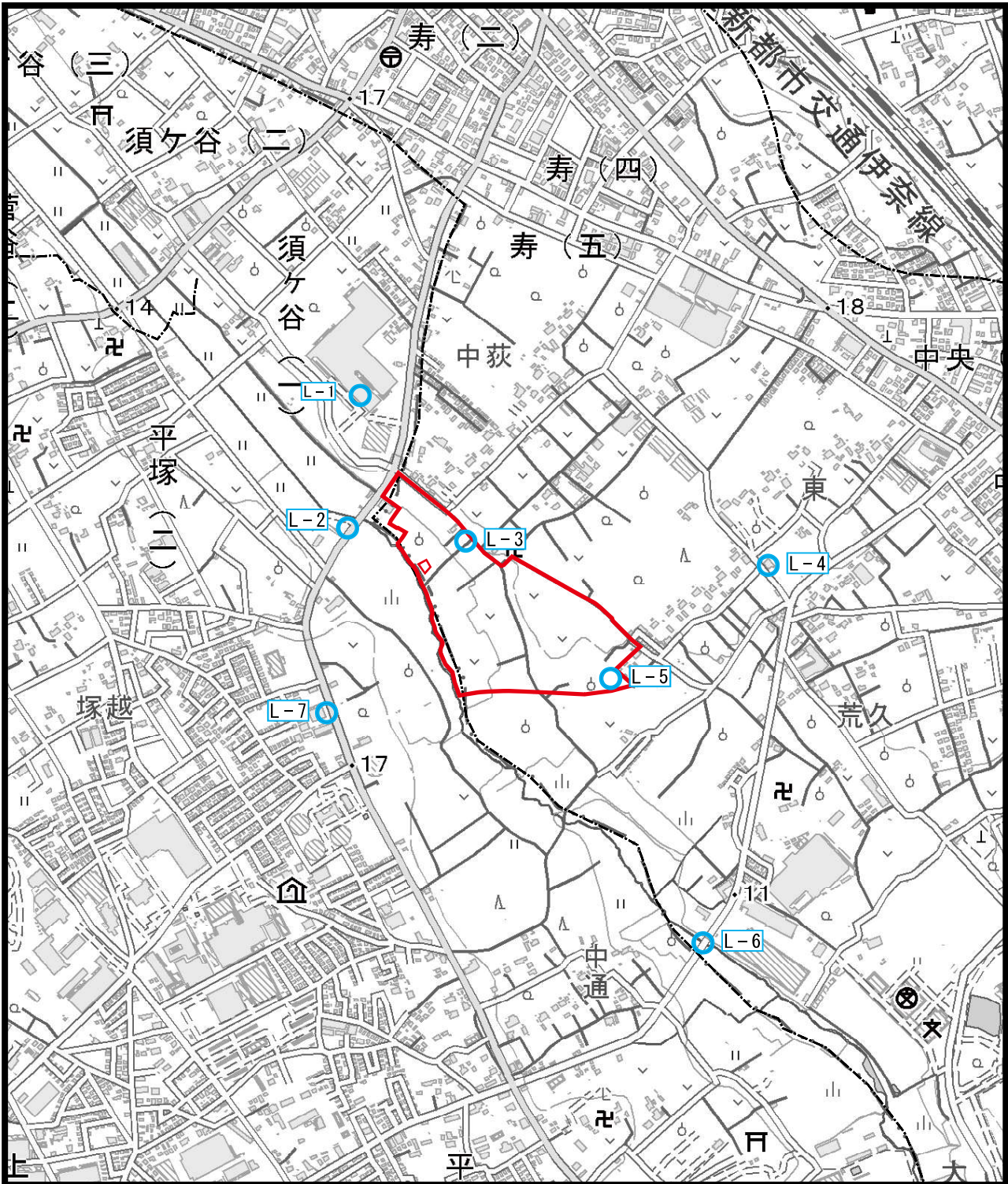
区分	調査項目	調査方法	調査年月日
主要な眺望景観の状況	眺望景観	写真撮影による。 眺望点から対象事業実施区域方向を望み、撮影は地上からカメラレンズまでの高さを1.5mとし、極力、人の視点及び視野に近いものとなるよう留意した。	冬季：令和7年1月9日 春季：令和7年4月19日、21日 夏季：令和7年7月19日、20日、21日 秋季：令和7年11月2日



景観調査状況

表 10.10.1-4 調査地点

区分	No.	調査対象地等	調査項目	選定理由等
主要な眺望景観の状況	L-1	セキチュー（ホームセンター）屋上駐車場	眺望景観	対象事業実施区域の北側の比較的高い視点から、対象事業実施区域方向（南方向）、西、北方向を見渡せる地点を選定した。また、南西方向に景観資源である富士山が眺望できる。
	L-2	対象事業実施区域（北）		対象事業実施区域の北側、県道さいたま菖蒲線沿いの比較的多くの人が集まる地点を選定した。
	L-3	隣接民家付近（北）		対象事業実施区域に隣接する民家付近を選定した。
	L-4	隣接民家付近（東）		
	L-5	隣接民家付近（南）		
	L-6	町道第15号線		対象事業実施区域の南、約500m付近を通る道路であり、対象事業実施区域を見渡せる地点を選定した。
	L-7	県道さいたま菖蒲線		対象事業実施区域の西、約200m付近を通る道路であり、対象事業実施区域を見渡せる地点を選定した。
	L-8	羽貫駅		対象事業実施区域の東側を南北に通る埼玉新都市交通伊奈線の駅を選定した。また、伊奈中央駅、羽貫駅から対象事業実施区域方向（南西方向）に景観資源である富士山が眺望できる。
	L-9	伊奈中央駅		
	L-10	志久駅		
	L-11	綾瀬川沿いジョギングロード		



凡例



: 対象事業実施区域

----- : 市町界



: 景観調査地点



S = 1:10,000



この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。

図10. 10. 1-1 (1/2) 景観調査地点



凡例

 : 対象事業実施区域  : 市町界

 : 景観調査地点



S = 1:25,000



この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。

図10. 10. 1-1 (2/2) 景観調査地点

3) 調査結果

(1) 主要な眺望景観、主要な眺望地点の状況

① 既存資料調査

主要な眺望景観、主要な眺望地点の状況に係る調査結果は、「第3章 地域特性、3.2 自然的状況 2.6 景観及び人と自然とのふれあいの場の状況 1) 景観の状況 (p. 3-114) に示すとおりである。

② 現地調査

調査結果は、表 10.10.1-5 に示すとおりである。

表 10.10.1-5 (1/11) 調査結果

調査地点	L-1 セキチュー（ホームセンター）屋上駐車場
地点の概要	対象事業実施区域の北側の比較的高い視点から、対象事業実施区域方向（南方向）、西、北方向を見渡せる。また、南西方向に景観資源である富士山が眺望できる。
眺望の構成要素	近景：前面には県道さいたま菖蒲線が通り、ガソリンスタンドが存在する。また、その周囲に住宅や農用地が広がる眺望が構成されている。
	中景：農用地、樹林、住宅、比較的規模の大きな事業所が存在する。その割合は樹林が多く、住宅、事業所などが占める割合はさほど大きくない。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域北側に位置するホームセンター屋上駐車場であり、主として地域住民により利用されている。
眺望特性	人工構造物(ガソリンスタンドや住宅、電柱、鉄塔等)、空による視野に占める割合が大きい。南西方向に位置する富士山は、対象事業実施区域方向(南方向)から南西方向に視線を動かした場合に視認できるが、視野に占める割合は小さい。また、視認が可能となるのは冬季の天気の良い日が中心となる。 対象事業実施区域を視認することができ、将来は計画施設を視認できると考えられる。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (2/11) 調査結果

調査地点	L-2 対象事業実施区域 (北)
地点の概要	対象事業実施区域の北側、県道さいたま菖蒲線沿いの比較的多くの人が集まる地点である。
眺望の構成要素	近景：前面には事業所の駐車場が存在するとともに、草地、樹林、対象事業実施区域に接する原市沼川により眺望が構成されている。また、高圧線の鉄塔も存在する。
	中景：中景の眺望は得られにくい、日本薬科大学の建屋がわずかに視認できる。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域北側を通る県道さいたま菖蒲線沿いの地点である。ガソリンスタンド、コンビニエンスストアの敷地に隣接し、主として道路通行者により利用されている。
眺望特性	人工構造物(駐車場)、草地、空による視野に占める割合が大きい。また、高圧線の鉄塔も存在感が大きい。 対象事業実施区域を視認することができ、将来は計画施設を視認できると考えられる。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (3/11) 調査結果

調査地点	L-3 隣接民家付近（北）
地点の概要	対象事業実施区域の北側に隣接する住宅付近であり、地域住民の生活の場である。
眺望の構成要素	近景：前面には観音堂、道路が存在するとともに、樹林、農用地により眺望が構成されている。
	中景：中景の眺望は得られにくい、比較的規模大きな事業所の建屋が視認できる。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域北側の地域住民の生活の場である。また、本地点道路は地域住民の生活道路として利用されている。
眺望特性	建築物（観音堂）、道路、樹林、空による視野に占める割合が大きい。 対象事業実施区域を視認することができ、将来は計画施設を視認できる。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (4/11) 調査結果

調査地点	L-4 隣接民家付近（東）
地点の概要	対象事業実施区域の東側の住宅が集まる地域であり、本地点はその中に位置する柴中福祉センターいこい（公民館）前である。地域住民の生活の場となっている。
眺望の構成要素	近景：前面には果樹園、住宅が存在するとともに、樹木により眺望が構成されている。
	中景：中景の眺望は得られない。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域の東側の地域住民の生活の場である。また、本地点道路は地域住民の生活道路として利用されている。
眺望特性	果樹園、住宅、道路、樹木、空による視野に占める割合が大きい。 対象事業実施区域を視認することはできないが、将来は計画施設の一部を視認できる可能性がある。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (5/11) 調査結果

調査地点	L-5 隣接民家付近（南）
地点の概要	対象事業実施区域の南側の住宅が集まる地域であり、地域住民の生活の場となっている。調査地点は当該地域の最南端である。
眺望の構成要素	近景：前面には農用地(遊休農地)、草草が広がり、その他、樹木により眺望が構成されている。
	中景：中景の眺望は得られない。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域の東側の地域住民の生活の場である。
眺望特性	農用地(遊休農地)、草草が広がり、その他、樹木、空による視野に占める割合が大きい。対象事業実施区域を視認することができ、将来は計画施設の一部を視認できる。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (6/11) 調査結果

調査地点	L-6 町道第15号線
地点の概要	対象事業実施区域の南、約500m付近を通る町道第15号線上の地点であり、比較的交通量は多い。
眺望の構成要素	近景：前面には草地在り、その他、駐車場、高圧線の鉄塔、樹林により眺望が構成されている。
	中景：近景から中景にかけて高圧鉄塔、樹林により眺望が構成されている。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域周辺の主要道路であり、生活道路としての利用も多くみられる。
眺望特性	本道路は北東・南西方向に通っており、北方向の対象事業実施区域を視認するためには視線を変える必要があるが、その間に住宅等の視野を遮る人工構造物等は存在せず、対象事業実施区域を視認することができる。将来は計画施設の一部を視認できると考えられる。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (7/11) 調査結果

調査地点	L-7 県道さいたま菖蒲線
地点の概要	対象事業実施区域の西、約200m付近を通る県道さいたま菖蒲線上の地点であり、比較的交通量は多い。
眺望の構成要素	近景：前面には農用地、駐車場が広がり、その他、高圧線の鉄塔等により眺望が構成されている。
	中景：中景の眺望は得られない。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域周辺の主要道路であり、生活道路としての利用も多くみられる。
眺望特性	本道路は北・南方向に通っており、東の対象事業実施区域方向を視認するためには視線を変える必要がある。現在は対象事業実施区域を視認することができないが、将来は計画施設の一部を視認できると考えられる。

眺望景観

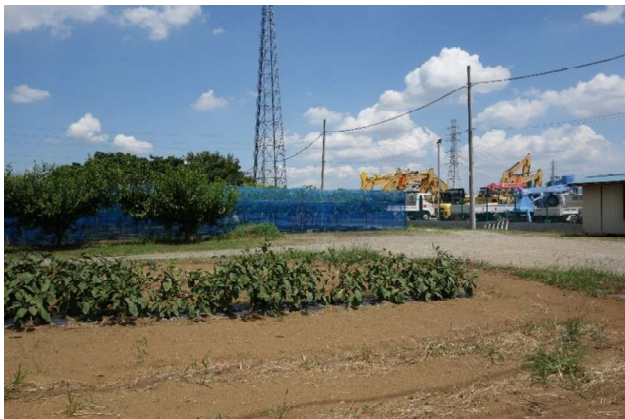
冬季



春季



夏季



秋季

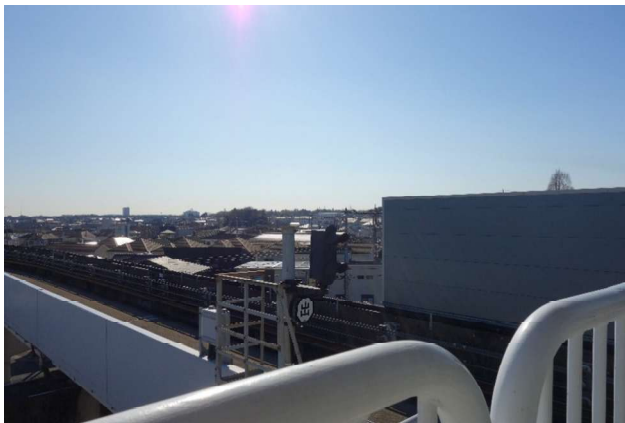


表 10.10.1-5 (8/11) 調査結果

調査地点	L-8 羽貫駅
地点の概要	対象事業実施区域の東側を南北に通る埼玉新都市交通伊奈線の駅である。対象事業実施区域方向(南西方向)に景観資源である富士山が眺望できる。
眺望の構成要素	近景：ホームの南端からの眺望。前面の住宅、事業所等を主体として眺望が構成されている。
	中景：前面に広がる住宅の向こう側に樹木、日本薬科大学、埼玉県立がんセンターの建屋がわずかに視認できる。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域周辺の鉄道駅であり、人の多く集まる場所である。
眺望特性	駅のホーム壁により、対象事業実施区域方向を視認できるのはホームの南端に限られ、駅を利用する通常のホーム位置からは、対象事業実施区域を視認することができない。なお、富士山はホーム壁に遮られこの視点場からは視認できない。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (9/11) 調査結果

調査地点	L-9 伊奈中央駅
地点の概要	対象事業実施区域の東側を南北に通る埼玉新都市交通伊奈線の駅である。対象事業実施区域方向(南西方向)に景観資源である富士山が視認できる。
眺望の構成要素	近景：ホームからの眺望。駅のホーム壁の向こう側に住宅、事業所、樹木を主体として眺望が構成されている
	中景：近景と概ね同様の眺望構成である。
	遠景：冬季の天気の良い日を中心として、秩父多摩甲斐国立公園の山間部を視認できる。また、同様に富士山も視認できるが、視野に占める割合は小さい。
地点の利用状況	対象事業実施区域周辺の鉄道駅であり、人の多く集まる場所である。
眺望特性	駅のホーム壁の向こう側に対象事業実施区域方向を視認できる。将来は計画施設の一部(煙突)が視認できる可能性があるが、視野に占める割合は小さいものと考えられる。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季

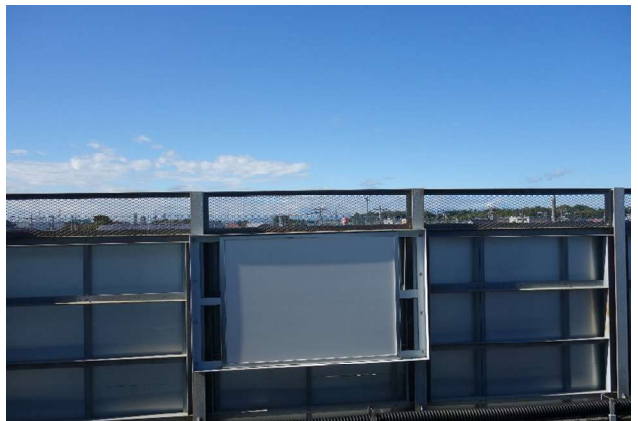


表 10.10.1-5 (10/11) 調査結果

調査地点	L-10 志久駅
地点の概要	対象事業実施区域の東側を南北に通る埼玉新都市交通伊奈線の駅である。西北西方向に対象事業実施区域方向が位置し、南西方向に景観資源である富士山が眺望できる。
眺望の構成要素	近景：ホームの北端からの眺望。住宅、日本薬科大学の建屋、事業所、樹林等を主体として眺望が構成されている。
	中景：中景の眺望は得られない。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	対象事業実施区域周辺の鉄道駅であり、人の多く集まる場所である。
眺望特性	駅のホーム壁により、対象事業実施区域方向を視認できるのはホームの北端に限られ、駅を利用する通常のホーム位置からは、対象事業実施区域を視認することができない。なお、富士山は対象事業実施区域方向と異なる方向にあるため、この視点場では視認できない。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



表 10.10.1-5 (11/11) 調査結果

調査地点	L-11 綾瀬川沿いジョギングロード
地点の概要	対象事業実施区域の北東側に位置するジョギングロードである。対象事業実施区域方向(南西方向)に景観資源である富士山が眺望できる。
眺望の構成要素	近景：前面の農用地、その向こう側の住宅、事業所、高圧線の鉄塔を主体として眺望が構成されている。
	中景：中景の眺望は得られない。
	遠景：遠景の眺望は得られない。
地点の利用状況	徒歩(散歩)、ジョギング、自転車などで利用される。
眺望特性	前面に大きく広がる農用地の耕作特性により眺望は大きく変化するが、視認できる要素に大きな変化はない。対象事業実施区域を視認することはできないが、将来は計画施設の一部(煙突)を視認できる可能性がある。なお、富士山は冬季の天気の良い日を中心として、ジョギングロードの一部からは視認できるが、視野に占める割合は小さい。

眺望景観

冬季



春季



夏季



秋季



(2) その他の予測・評価に必要な事項

① 地域の景観特性

地域の景観特性は、「第3章 地域特性の把握、2 自然的状況、2.6 景観及び自然とのふれあいの場の状況 1) 景観の状況」(p. 3-114) に示すとおりである。

② 地形・地質、植物、史跡・文化財等の状況

地形・地質の状況は、「第3章 地域特性の把握、2 自然的状況、2.4 地形及び地質の状況」(p. 3-85) に示すとおりである。

植物の状況は、「第3章 地域特性の把握、2 自然的状況、2.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況」(p. 3-89) に示すとおりである。

史跡・文化財等の状況は、「第3章 地域特性の把握、2 自然的状況、2.7 文化財その他の生活環境の状況 1) 文化財」(p. 3-120) に示すとおりである。

③ 土地利用状況

土地利用の状況は、「第3章 地域特性の把握、1 社会的状況、1.2 土地利用の状況」(p. 3-4) に示すとおりである。